

大阪市建設局における技術提案のニーズ概要（令和3年12月掲載）

① 道路（御堂筋など）における人流・交通の把握

マーケティングや事業効果測定に活用

求める技術	<ul style="list-style-type: none"> ● ミナミアリアにおける歩行者の周遊状況・滞留時間・属性情報等を把握できる技術 ◆ 交通量・走行速度を把握できる技術
目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 御堂筋側道の歩行者空間化・賑わい施設整備によるミナミアリアの回遊性向上を検討するための基礎データとして、御堂筋周辺エリア（商店街、道頓堀川遊歩道含む）において、歩行者が公共空間でどのように流動・滞留しているのかを把握したい。 ◆ 道路整備による事業効果を測定するための交通量や走行速度等を把握したい。

② 公園等の施設にかかわる測量等

維持管理業務に活用

求める技術	<ul style="list-style-type: none"> ● ドローン等を活用した公園施設の測量技術（航空型・車両型・人力型など） ◆ 樹木の形状寸法計測や腐朽診断の ICT 化
目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園等の施設管理の高度化、効率化のためのドローン等を活用した公園等の園内や場内における 3次元測量。樹木下の形状も測量できるような技術が望ましい。 ◆ 樹木の形状寸法の計測、腐朽診断を容易に把握したい。

③ 下水道の施設にかかわる技術開発

都市環境の保全に活用

求める技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水を処理する各過程における革新的な下水道システム ◆ 管渠・抽水所（ポンプ場）・下水処理場における施設の状態を効率的に調査する技術 ■ ICT・AI 等の活用による施設の運転を支援する技術
目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水処理施設の建設コストと運営コストの削減や、脱炭素社会の実現を目的とした、下水を処理する各過程における従来の手法にとらわれない処理システムや、新たな省エネ・創エネに資する技術。 ◆ 状態監視型の維持管理を推進するため、施設の状態を効率的に調査する技術や人力での状態監視が困難な箇所を調査する技術。 南海トラフ等の巨大地震に対して、下水道施設の緊急調査を実施する目的で、速やかに調査するための技術。 ■ 近年多発する集中豪雨に対応するべく、降雨予測や流入状況に連動したポンプ運転を支援する技術。 下水処理施設の運転の、さらなる効率化・省エネ化に向けた、施設運転の最適化支援技術。